

令和2年度 印西市家庭教育学級だより（今回は2ページあります）

# かてきょう通信 NO. 17

令和3年 3月 発行

《今年度最終号》

## ご協力、ありがとうございました

3月に入り、今年度もいよいよ締めくくりの月となりました。

この一年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、日本中、いや世界中が、混乱に包まれ、不安の一年だったのではないのでしょうか。

マスク着用や手洗い・消毒が各所で求められ、園や学校では、これまで当たり前に行ってきた活動の多くが制限されました。そんな中、保護者の皆さんや教職員により、配慮や工夫がなされ、子どもたちも、できることを精いっぱい頑張ってきた一年だったと思います。



家庭教育学級では、運営委員の皆さんや家庭教育主事（教頭先生）のご協力のおかげで、できる限りの取り組みをすることができました。学習内容や補助金についての計画、各方面との連絡調整など、大変お手数をおかけしました。

また、開催にあたっては、コロナ禍への対応ということと、ソーシャルディスタンス・手指の消毒・換気等、きめ細かい配慮の中で進めていただきました。やむを得ず中止の決定をするなど、例年通りに進められないことがいろいろとあり、御心配をおかけすることが多かったと思います。ご協力本当にありがとうございました。

提出していただいた報告の中には、保護者同士の交流が持てたことを喜んでいただける内容のものがとても多く、改めて家庭教育学級の意義を感じました。さらに、「こうすれば良かった。」「こうしたらもっと良かった。」など、スムーズな運営や内容の充実のための意見を記載していただいたものもあり、皆様の意識の高さを感じました。今後の検討課題としていきたいと思います。

ということで、裏面は、運営委員の方からいただいた感想を大まかにまとめて紹介します。これからの家庭教育学級での学びに、どう役立てていくのか、次年度への引継ぎの参考になればと思います。

（裏面に続きます。）

【参加者の声の一部を抜粋し、まとめてみました】



コロナ禍で、開催が不安でしたが、教頭先生（家庭教育学級主事）と相談して、開催することができました。回数は少なくなりましたが、楽しくできて良かったです。

シアターフォーラムは、どのような内容がよく把握していませんでした。しかし、参加してみて良い内容だったので、参加者が少なく残念でした。事前に、内容をもう少し詳しくお知らせしていただけるとよかったです。



コロナ禍で、学級生同士が顔を合わせる機会が減る中で、対策を徹底して実施しました。保護者同士の交流を深めることができ、ありがたかったです。

今まで知らなかった趣味の講座が、とても楽しかったです。貴重な体験ができました。コロナ禍では、実際の交流とオンラインが併用できると良いのではないかと思います。

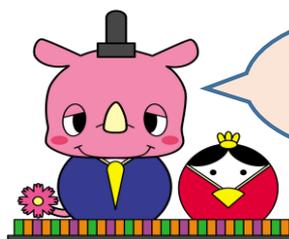


この他にも、運営委員の皆さんから、いろいろなご意見・ご感想を寄せていただきました。皆さんからの貴重なご意見を参考に、また、今年度の経験を踏まえ、来年度も『家庭教育学級』が子育ての一助になるように取り組んでまいります。今後ともよろしく願いいたします。

来年度の第一回目の運営委員研修会は、4月22日（木）【10：00～市役所にて】に予定しています。担当になられた方には、改めて後日ご連絡しますので、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

◇お問い合わせ◇

印西市教育委員会 生涯学習課  
推進係（担当 渡辺・海老原）  
【電話】0476-33-4713  
【Fax】0476-42-0033



ご協力ありがとうございました。

★「かてきょう通信」は、印西市ホームページでもご覧いただけます。

URL：<https://www.city.inzai.lg.jp/0000010939.html>

※または印西市ホームページにて「かてきょう通信」と検索してください。